

会議結果

会議名	第6回西尾市補助金等検討委員会
日時	平成30年12月25日(火) 午後1時30分～午後3時40分
場所	西尾市役所 2階 22会議室
出席者	委員…横山会長、久世副会長、三浦委員、清水委員、榊原委員 事務局(企画政策課)…齋藤課長、松原課長補佐、鈴木主任主査、三浦 人事課…西尾課長、手嶋課長補佐、手嶋主任主査、石川臨時職員 危機管理課…(防災)高須課長補佐、須藤主事(交通・防犯)杉浦主任主査、杉山主事
<p>松原課長補佐が会議を進行。 会議の概要は次のとおり。</p> <p>1 会長あいさつ(横山会長) 前回傍聴された弥富市役所は来年度から西尾市補助金等検討委員会を参考に委員会を立ち上げていく。先駆者として模範となるような委員会にしていきたい。</p> <p>2 補助金の評価 前回会議で委員から交付先別の一覧を作成して欲しいとの依頼があったため作成し配布。 (1) 補助金 No. 115, 124, 125, 126 の確定について 松原課長補佐から説明。 前々回事務局から評価案を提示したところ、委員から修正の指摘があった。修正を反映させたシートを前回会議で提示していたが、本日まで修正等の意見がなかったことを報告し、4つの補助金評価を確定とした。 (2) 補助金 No. 137, 156, 157, 164(1), 164(2) の検討結果について 松原課長補佐から説明。 前回会議で協議した5つの補助金シートの案を事務局で作成したため報告。修正等の意見があれば次回までに事務局へ連絡をしてもらう。 (3) 補助金 No. 6, 3, 4, 5, 9, 10, 11 の検討結果について</p> <ul style="list-style-type: none">●No. 6 職員互助会助成金(人事課)<ul style="list-style-type: none">・主な委員からの意見等 補助率を変更する場合も国の指導ではなく、市の方針を示し目標をもった説明をしていただきたい。 福利厚生事業の利用率によっては、事業内容を見直すべきである。 今後の働き改革等を踏まえ、会計年度任用職員等についても検討していただきたい。 市が負担すべきものと職員が積み立てるものを分けるべきである。 互助会の事業が職員が働きやすい職場にするための内容になっていれば良いと考える。 アンケート調査等を行い受益者の需要に合わせた事業の実施に努めていただきたい。●No. 3 自主防災会防災訓練補助金(危機管理課)●No. 4 自主防災会防災資機材等補助金(危機管理課)●No. 5 校区自主防災会連絡協議会防災訓練補助金(危機管理課)	

・主な委員からの意見等

自助・共助は重要である。防災訓練の参加率が悪い地区は参加率を向上するような啓発に努めていただきたい。

震度や液状化、津波、土砂崩れ、豪雨による浸水など、どの地区がどの災害に弱いかわざードマップを用いた周知に努めていただきたい。

この補助金を否定する考えはない。補助の方法等に課題があると考え。補助率 100%と 1/2とあるが 100%でも良いと思う。

防災訓練の実施が 100%になるよう、助言・指導に努めていただきたい。適正な訓練経費については、全額補助を検討していただきたい。

地区の災害に対応した防災資機材の整備目標を定め、整備状況等を把握し、指導助言に努めていただきたい。

●No. 9 防犯灯設置費補助金（危機管理課）

●No. 10 青色回転灯パトロール活動事業補助金（危機管理課）

●No. 11 防犯カメラ設置費補助金（危機管理課）

・主な委員からの意見等

防犯行政として市のあるべき姿を検討したうえで、防犯灯の設置場所、設置数等の計画をもって整備してほしい。

市全体で計画を立てることを検討する必要がある。

市として防犯灯の LED 化が必要であれば、補助金制度でなく計画的に順次 LED 化していくべきである。

この予算では防犯に対して効果的とは思えない。

補助団体数が少なく事業制度を見直した方が良いのではないか。

当初は効果があったが、青色回転灯パトロールに慣れが生じ、時代的な環境の中で役割が終わった感がある。

公用車を白黒にして青色回転灯パトロールにすることも検討していただきたい。

犯罪が増えている中で、少子高齢化で担い手不足であることが課題であり、制度全体の見直しが必要と考える。

防犯は重要な施策であるため、地域に任せてサポートするのではなく、行政が全市的な課題と方向性を示し、地域を導くことが必要と考えます。

3 その他

鈴木主任主査から説明

- ・次回の予定を説明。

以上、15 時 40 分終了